2027年６月期 第１四半期
決算補足資料

2026年11月6日

KOA SHOJI HOLDINGS

医薬品を上流から支える

コーア商事ホールディングス株式会社

（東証プライム：9273）

2027年6月期 第1四半期決算　サマリー

売上高と営業利益

◆ 連結売上高：

各セグメントとも業績予想の範囲内であるが、対前年同期比ではマイナスとなっており、連結売上高は△3.0%の5,771百万円となった。

◆ 連結営業利益：

連結での売上原価率は前年同期比+1.6p（67.7%→69.3%）、販管費率が+1.8ｐ（9.6%→11.4%）といずれも上昇したことから、連結営業利益は前年同期比△17.7%の1,113百万円となった。

原薬セグメント

◆ 顧客のシェア拡大に向けた製造拡大や、今後上市が見込まれる新規品目の取引増加などによる増収要因はあったものの、一部のサプライヤーの製造中止に伴う販売終了や、顧客の購入タイミングの影響により、売上高は前年同期比△2.1%の3,952百万円と前年並みの進捗となった。

◆ 粗利率の高い品目の減少等の売上構成の変化に伴う売上総利益の減少と、税制改正の影響による租税公課や人件費などの販管費の増加により、営業利益は前年同期比△13.6%の726百万円となった。

医薬品セグメント

◆ プレフィルドシリンジ製剤は堅調に伸びているが、錠剤の主力製品は薬価改定や競合他社参入の影響から前年同期比で減収となっており、売上高は前年同期比△6.8%の2,082百万円となった。

◆ 薬価改定の影響や生産量の減少による製造原価率の上昇や、人件費や研究開発費などの販管費増加があり、営業利益は前年同期比△31.7%の374百万円となった。

◆ 当期の通期計画は、蔵王第二工場が2027年3月に稼働を開始すること等から、第4四半期に業績が拡大する計画となっており、当第1四半期における進捗は概ね想定通りに推移しております。

2027年6月期 第1四半期決算　連結業績

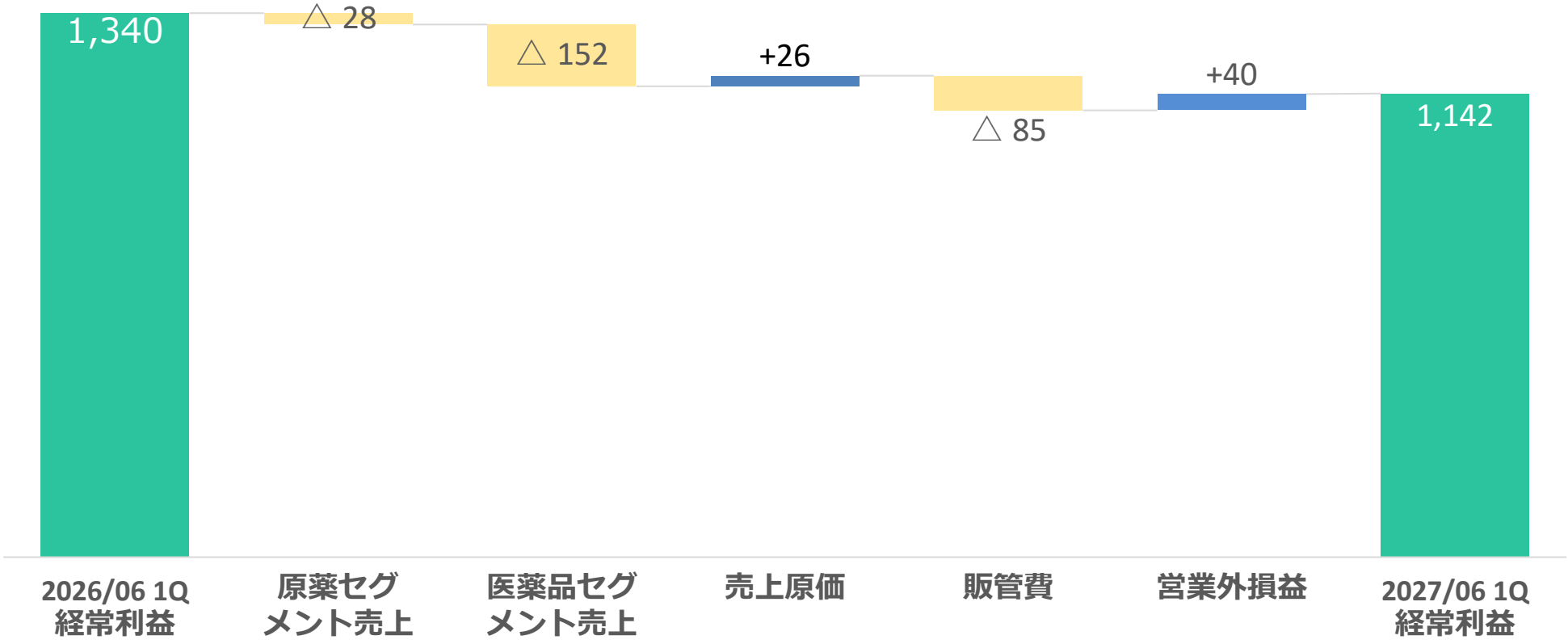
2026年7月1日～2026年9月30日　　単位：百万円

連結	2026/06 第1四半期		2027/06 第1四半期		前期比増減		通期予想	
	金額	売上比	金額	売上比	金額	率	金額	進捗率
売上高	5,951	–	5,771	–	△180	△3.0%	26,700	21.6%
売上原価	4,028	67.7%	4,001	69.3%	△26	△0.7%	-	-
売上総利益	1,923	32.3%	1,769	30.7%	△153	△8.0%	-	-
販管費	571	9.6%	656	11.4%	+85	+14.9%	-	-
営業利益	1,352	22.7%	1,113	19.3%	△238	△17.7%	5,270	21.1%
経常利益	1,340	22.5%	1,142	19.8%	△197	△14.8%	5,260	21.7%
親会社株主に帰属する四半期純利益	891	15.0%	777	13.5%	△114	△12.8%	3,590	21.6%

2027年6月期 第1四半期決算　経常利益増減要因

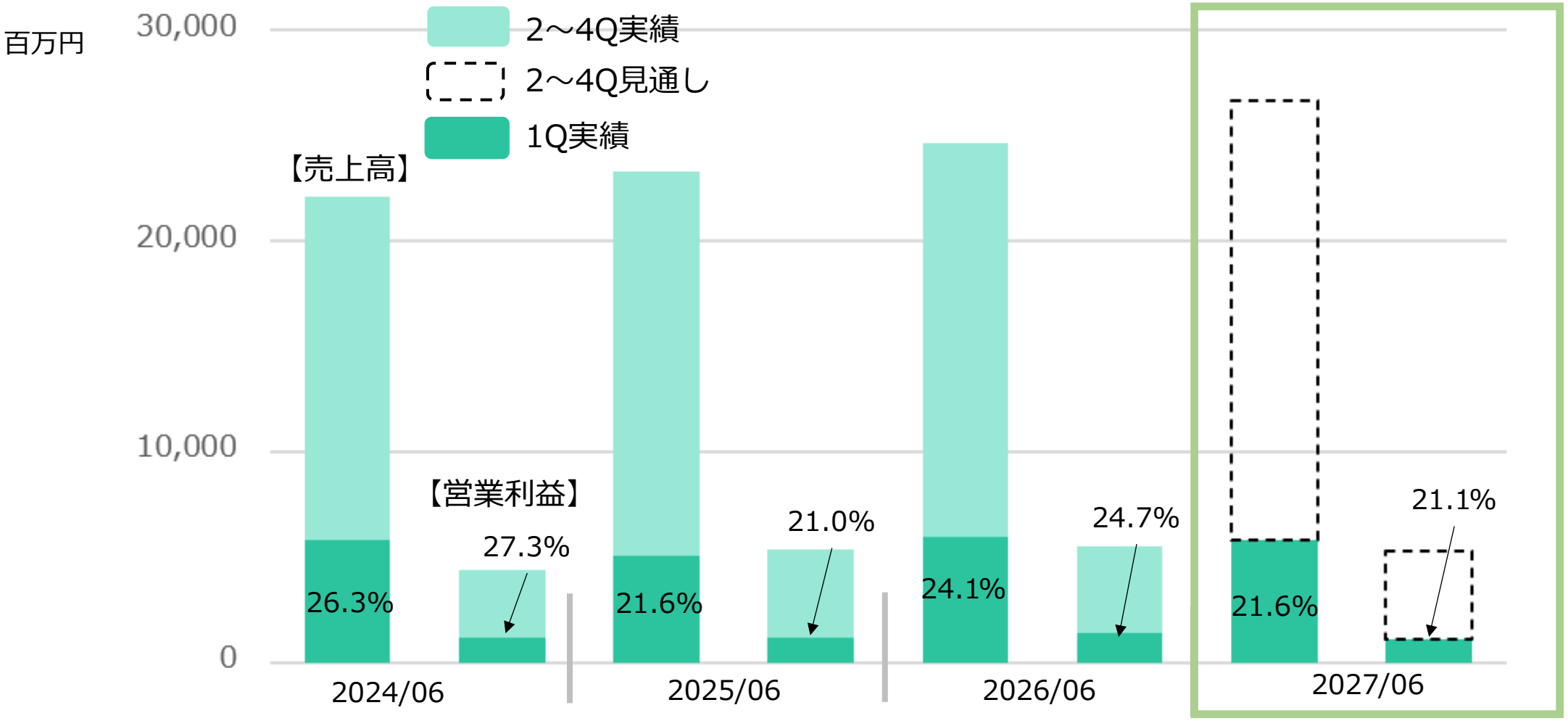
- ◆ 売上原価は売上構成の変化や生産量の減少などによる影響はあるものの、実績は減少となった
- ◆ 販管費は賃上げや人員増による人件費、研究開発費の増加などにより利益を押し下げ
- ◆ 為替の影響により営業外で約38百万円の利益を押し上げ

(単位：百万円)



2027年6月期 第1四半期決算　進捗率比較

- ◆ 過去3期の連結売上高と営業利益の通期実績に対する1Q時点での進捗率
- ◆ 2027/06は通期見通し（予想）に対する1Qまでの進捗率
- ◆ 当期（2027/06）は4Qに売上・利益が拡大する計画であり、想定通りの進捗となっている



2027年6月期 第1四半期決算　要約貸借対照表

単位：百万円

借方	2026/06 6月末（4Q）		2027/06 9月末（1Q）		備考
	金額	合計比	金額	合計比	
流動資産	25,329	64.1%	24,790	63.4%	
現金及び預金	17,210	43.5%	17,245	44.1%	・売上債権・棚卸資産：取引タイミングによる一時的な増減
売上債権	4,666	11.8%	3,669	9.4%	
棚卸資産	2,840	7.2%	3,285	8.4%	
その他	611	1.5%	589	1.5%	
固定資産	14,202	35.9%	14,292	36.6%	
有形固定資産	12,365	31.3%	12,492	32.0%	
無形固定資産	7	0.0%	7	0.0%	
投資その他資産	1,829	4.6%	1,793	4.6%	
資産合計	39,532	100.0%	39,082	100.0%	

貸方	2026/06 6月末（4Q）		2027/06 9月末（1Q）		備考
	金額	合計比	金額	合計比	
流動負債	6,951	17.6%	6,610	16.9%	
仕入債務	1,463	3.7%	1,859	4.8%	短期借入金：蔵王第二工場関係の借入実施
短期借入金	2,349	5.9%	3,550	9.1%	
その他	3,139	7.9%	1,199	3.1%	
固定負債	1,400	3.5%	1,347	3.4%	
長期借入金	971	2.5%	930	2.4%	
その他	428	1.1%	417	1.1%	
負債合計	8,352	21.1%	7,957	20.4%	
純資産合計	31,180	78.9%	31,125	79.6%	
負債純資産合計	39,532	100.0%	39,082	100.0%	

2027年6月期 第1四半期決算　各種指標推移

【減価償却費、研究開発費、設備投資額】

単位：百万円

項目	2024/06 第1四半期	2025/06 第1四半期	2026/06 第1四半期	2027/06 第1四半期	前年同期比増減 金額	前年同期比増減 率	通期予想 金額	通期予想 進捗率
減価償却費	174	168	147	148	+1	+0.7%	734	20.2%
研究開発費	26	30	30	44	+14	+46.7%	259	17.0%
設備投資額	351	91	53	275	+222	+418.9%	1,649	16.7%

【一株当たり指標、配当性向】

単位：円

項目	2024/06 第１四半期	2024/06 通期	2025/06 第１四半期	2025/06 通期	2026/06 第１四半期	2026/06 通期	2027/06 第１四半期	2027/06 前年同期増減	2027/06 通期予想
1株当たり純利益	19.12	74.14	18.87	86.38	21.18	89.00	18.46	△12.8%	85.24
	9月末	6月末	9月末	6月末	9月末	6月末	9月末	前年同期増減	通期予想
1株当たり純資産	535.40	594.79	600.03	667.66	673.05	740.30	738.99	+9.8%	–
1株当たり配当金	–	13.0	–	16.0	–	18.0	–	–	19.0
期末配当性向	–	17.5%	–	18.5%	–	20.2%	–	–	22.3%

2027年6月期 第1四半期決算　セグメント業績

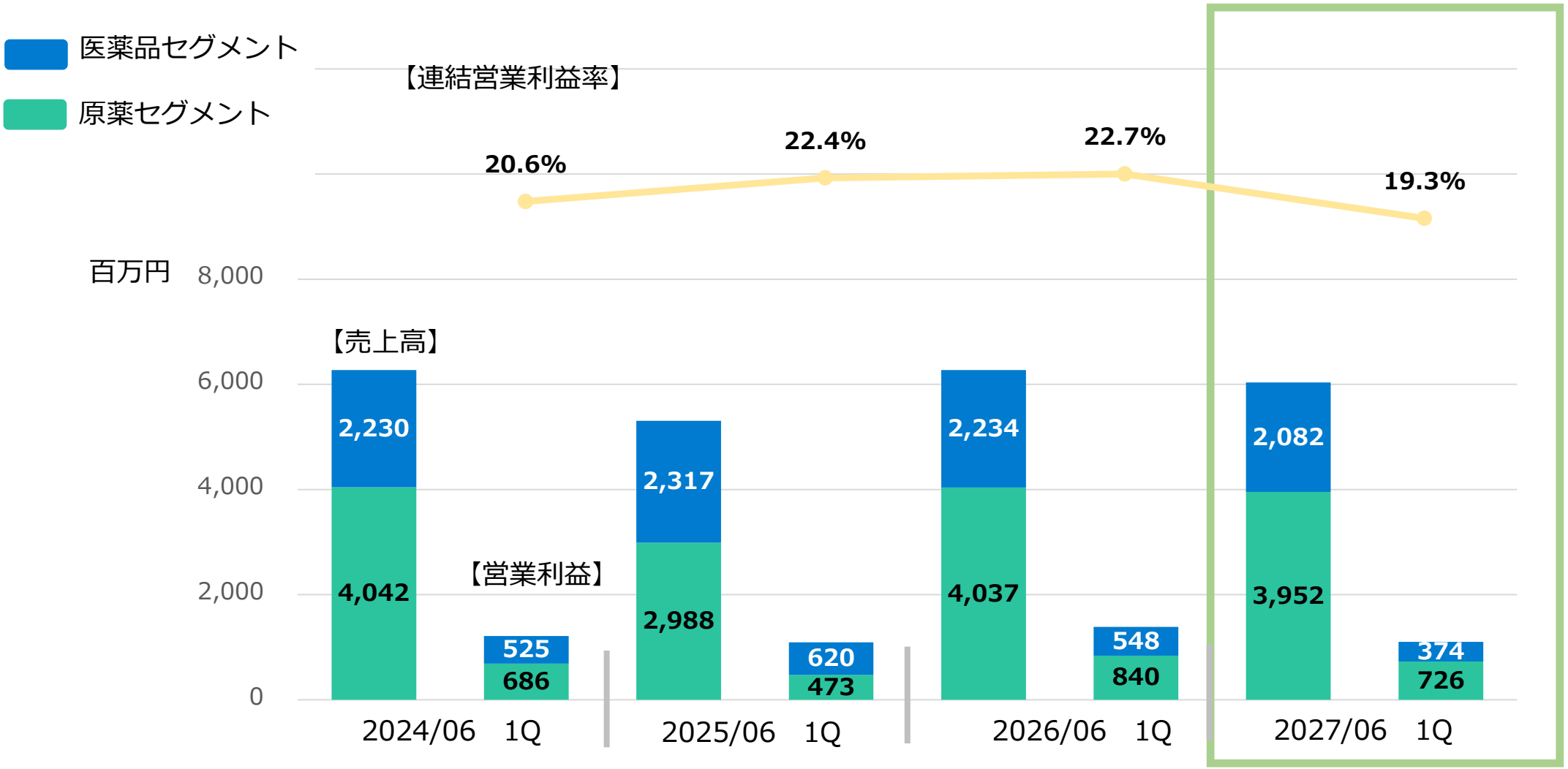
2026年7月1日～2026年9月30日　　単位：百万円

セグメント		2026/06 第1四半期		2027/06 第1四半期		前期比増減		通期予想	
		金額	売上比	金額	売上比	金額	率	金額	進捗率
原薬セグメント									
売上高		4,037	–	3,952	–	△84	△2.1%	18,310	21.6%
	外販	3,716	–	3,688	–	△28	△0.8%	17,380	21.2%
	内販	320	–	264	–	△56	△17.5%	930	28.4%
セグメント利益*		840	20.8%	726	18.4%	△114	△13.6%	3,350	21.7%
医薬品セグメント									
売上高		2,234	–	2,082	–	△152	△6.8%	9,320	22.3%
セグメント利益*		548	24.6%	374	18.0%	△174	△31.7%	1,950	19.2%

＊連結調整を含まない値

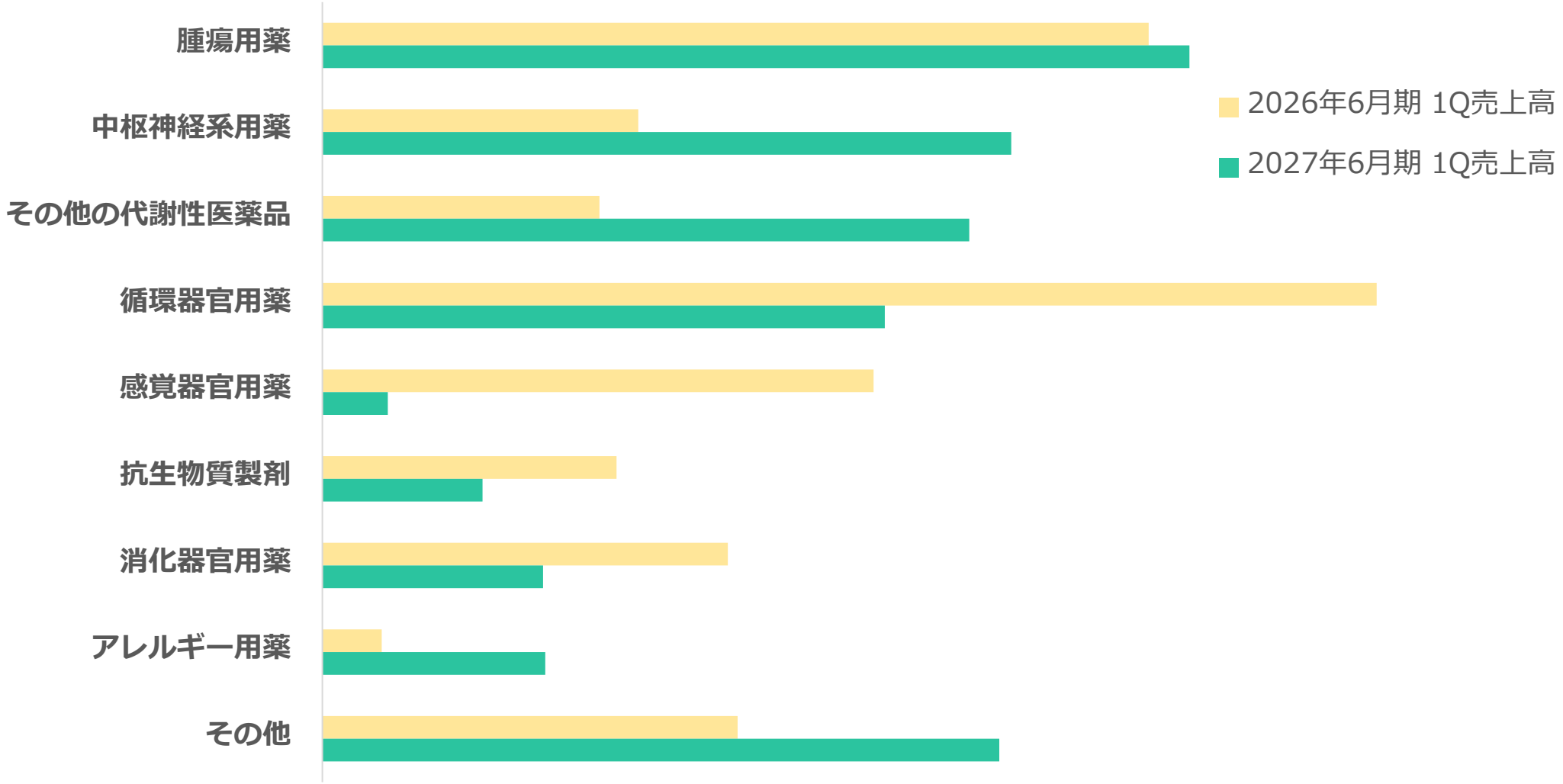
2027年6月期 第1四半期決算　過去3期との1Q比較

◆ 医薬品セグメントの原価率上昇や、両セグメントの販管費増加などにより、対前年同期比での連結営業利益率は低下した。



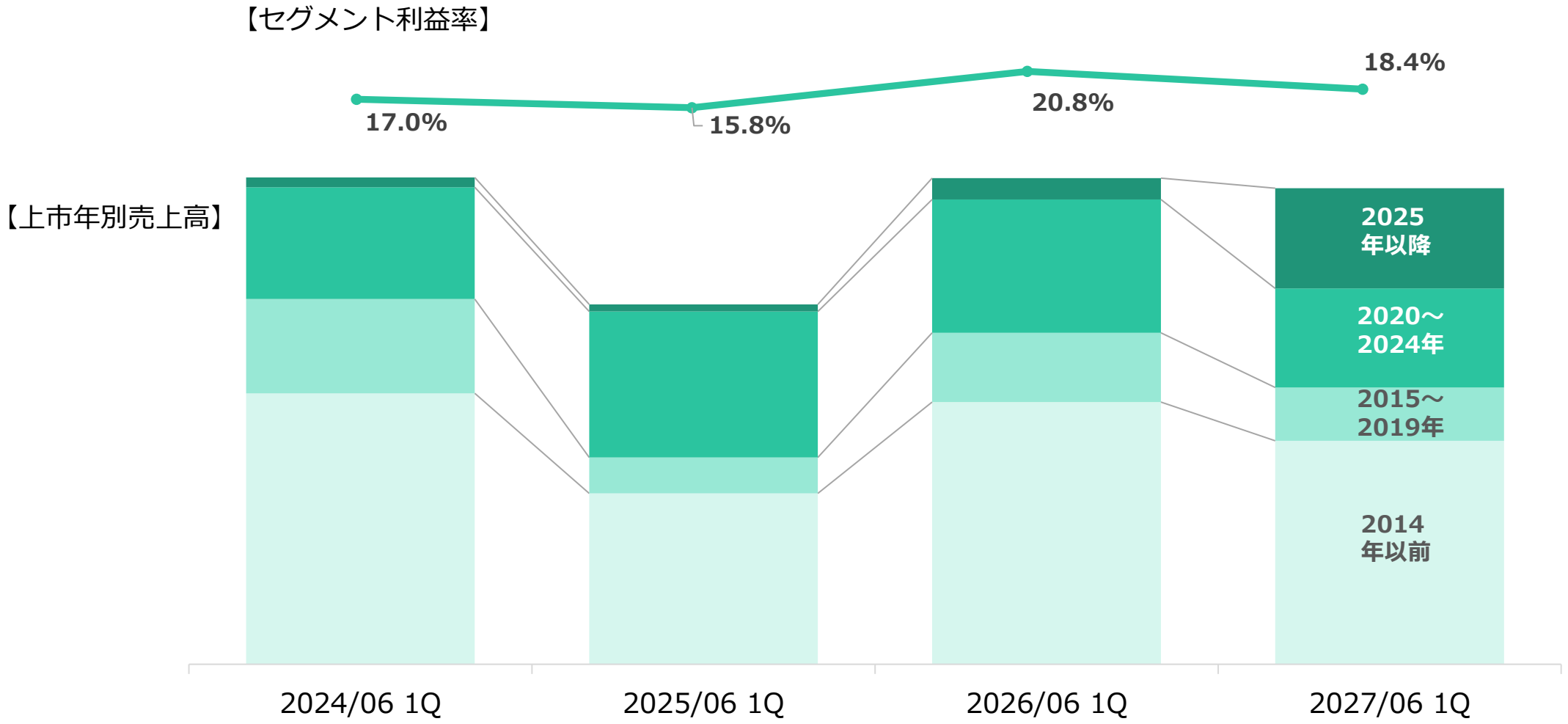
原薬セグメント　薬効分類別売上高

- ◆ 中枢神経系用薬は市場シェア拡大に向けた拡販、その他の代謝性医薬品は上市に向けた納品増加
- ◆ 循環器官用薬は購入タイミングの影響、感覚器官用薬はサプライヤーの製造中止に伴う販売減少



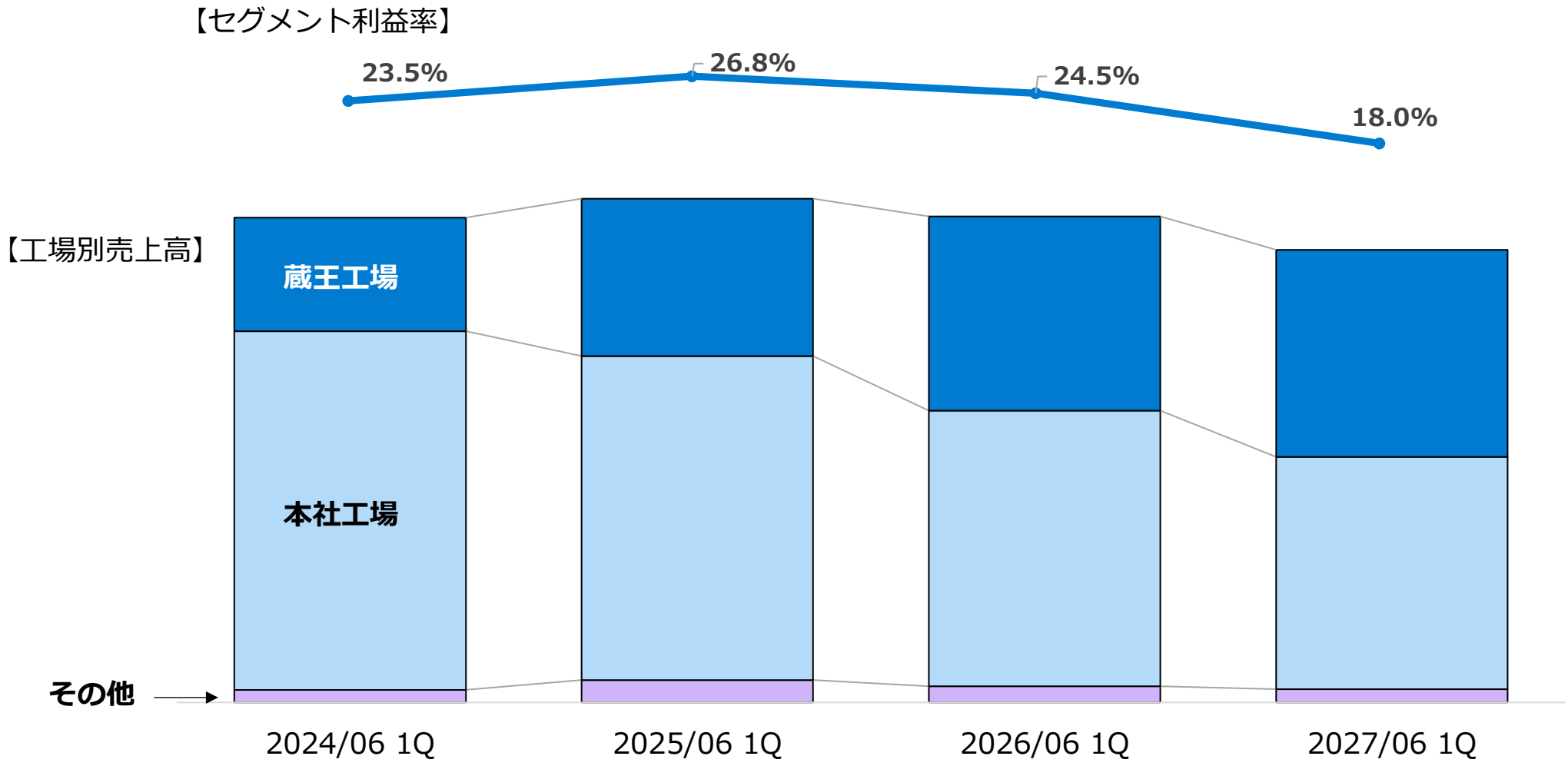
原薬セグメント　上市年別売上高と営業利益率

- ◆ 2025年以降：近年上市した品目、今後上市が見込まれる品目ともに堅調に推移した
- ◆ 2014年以前：顧客の購入タイミング影響による納品減少などがあった



医薬品セグメント　工場別売上高と営業利益率

- ◆ 蔵王工場：受託製造しているプレフィルドシリンジ製剤の販売が堅調に推移
- ◆ 本社工場：主力製品である錠剤が、薬価改定や競合の参入等により販売減少



医薬品セグメント　蔵王第二工場内覧会

◆ 9月18日に関係者約200人を招き蔵王第二工場の内覧会を開催









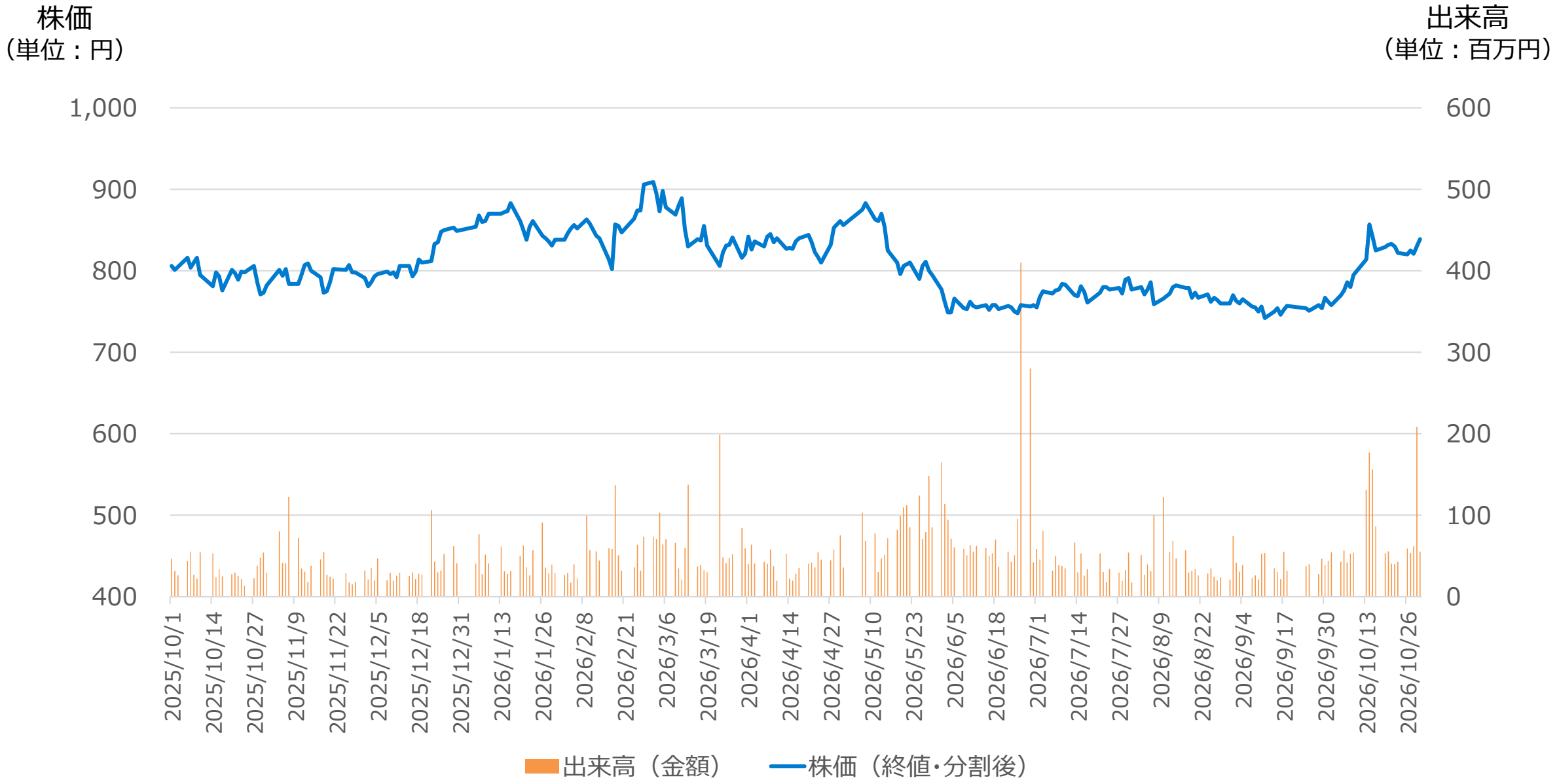
蔵王第二工場外観

【Appendix】

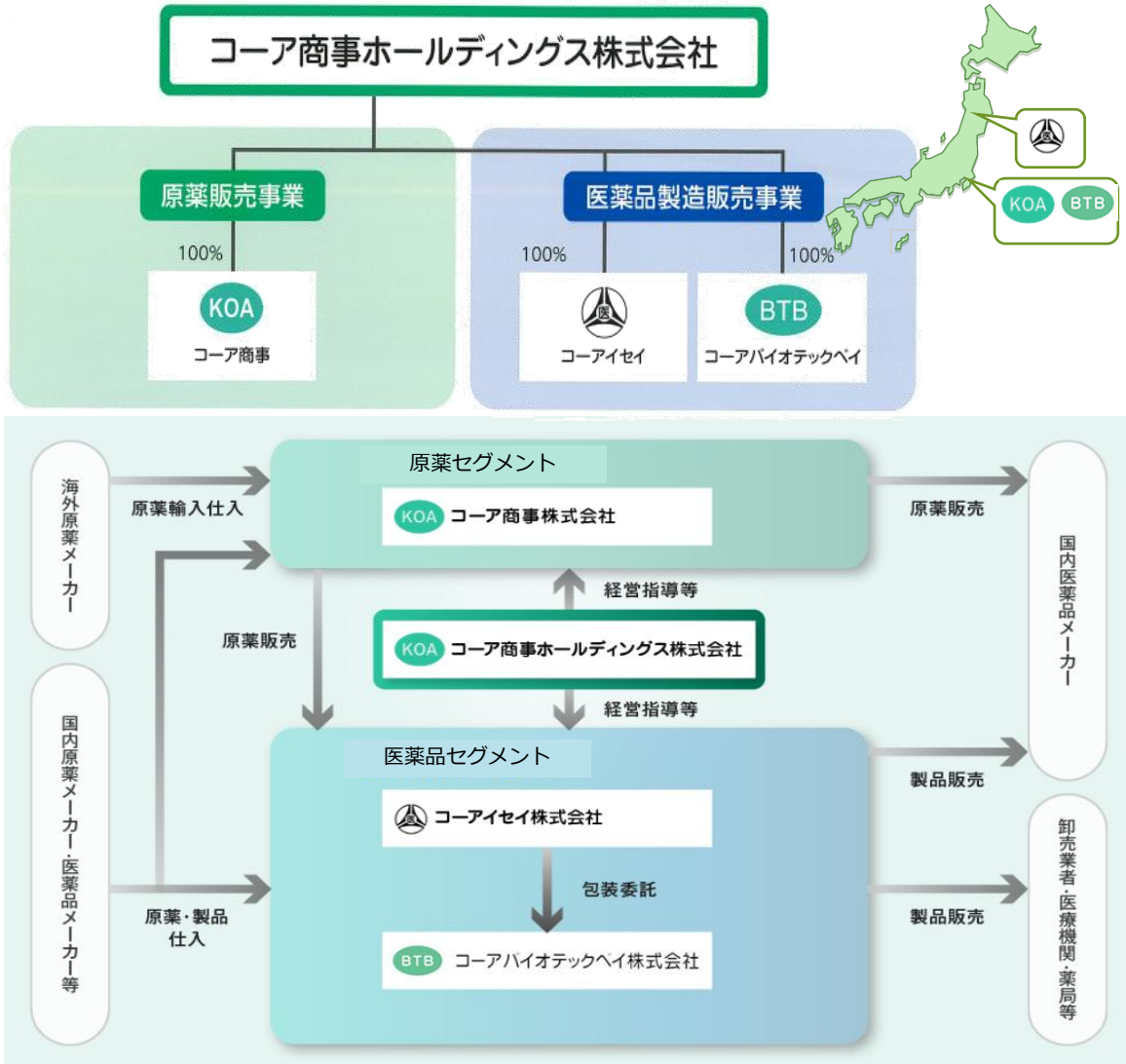
・株価推移
・会社概要
・ビジョン、企業理念、経営方針など
・ビジネスモデル
・各セグメントの優位性
・コーアイセイ創立70周年ロゴマーク

KOA SHOJI HOLDINGS

株価推移（当社株価・出来高推移）



会社概要



会社概要

会社名	コーア商事ホールディングス株式会社	
設立年月	2015年1月	
代表者	代表取締役社長　首藤 利幸	
上場取引所	東京証券取引所　プライム市場	
従業員数※	318名　【女性比率45.9%】	
事業内容	持株会社 【グループ事業：原薬販売、医薬品製造販売】	
本社所在地	横浜市港北区日吉7丁目13番15号	
主要株主※	株式会社土師	42.33%
	公益財団法人首藤奨学財団	10.92%
	首藤利幸	5.01%
	日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	3.22%
ガバナンス※	取締役10名 【社内6名、社外4名】 監査等委員4名 【社外4名】	

※ 2026年６月30日現在

2026年6月期売上構成比

63.7%



原薬セグメント

36.3%



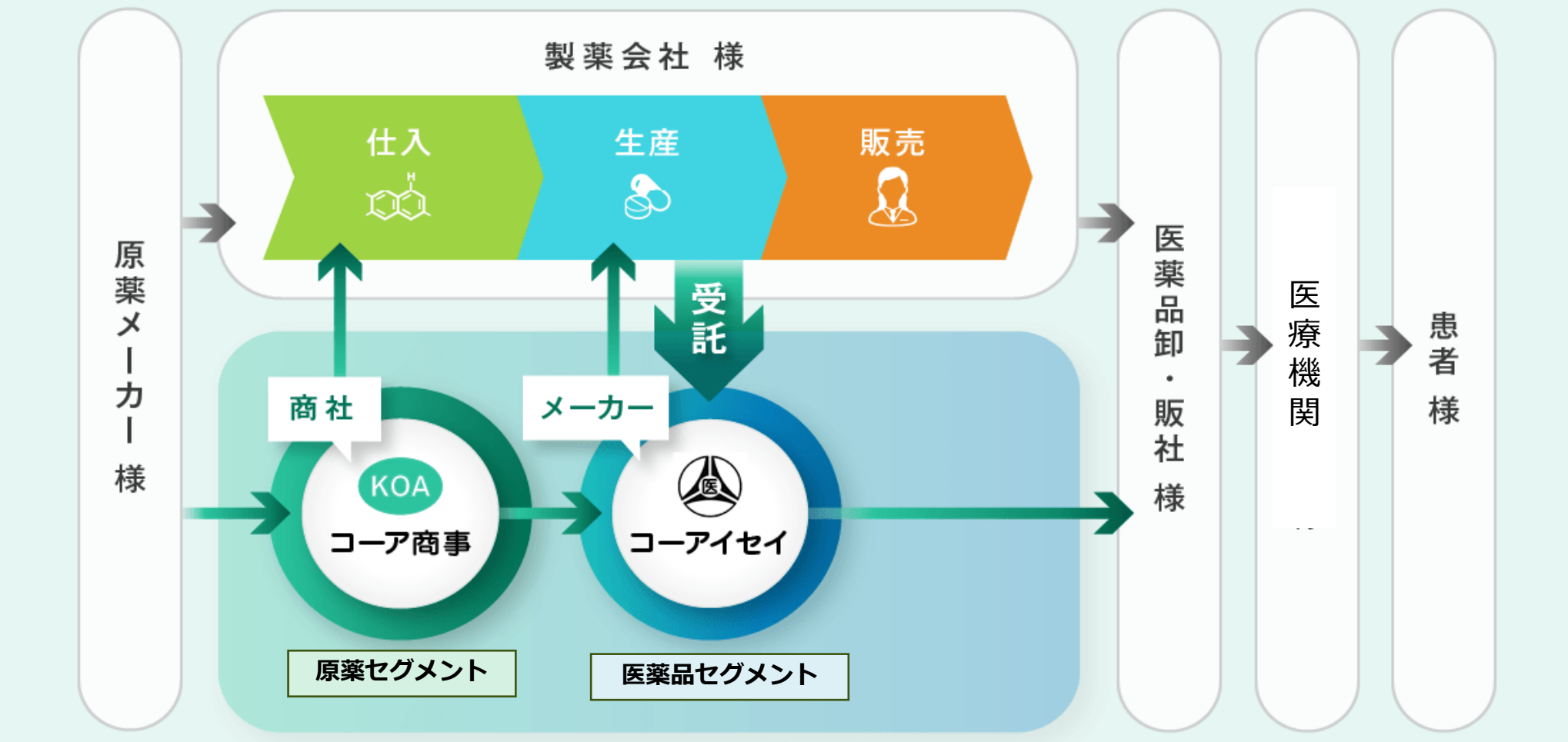
医薬品セグメント

ビジョン・企業理念・経営方針 など



ビジネスモデル

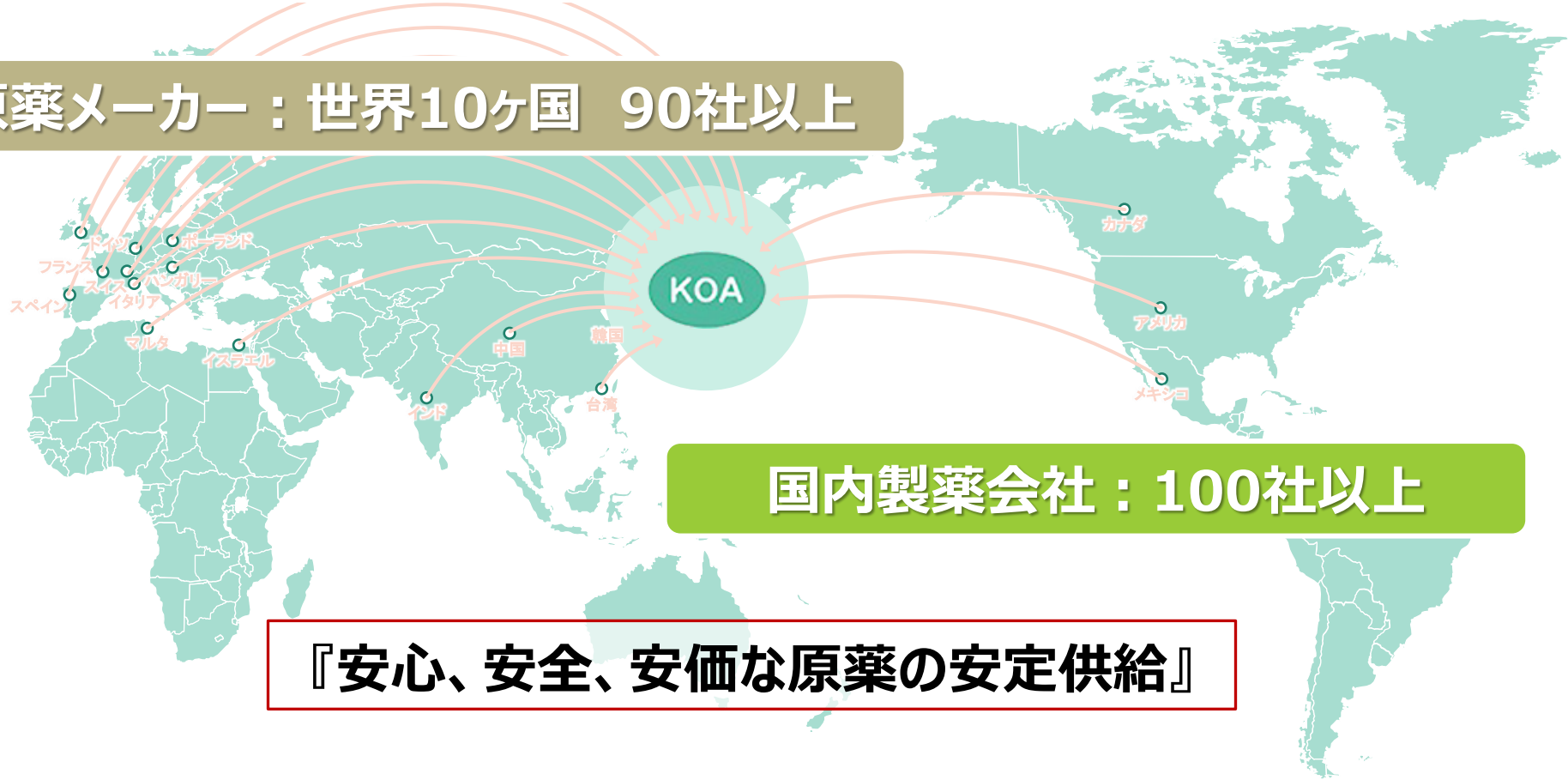
商社機能と製造機能を併せ持つビジネスモデルの独自性



原薬セグメントにおける優位性（１）

医薬品原薬の専門商社として
国内トップクラスの取引基盤・取扱商品数

海外原薬メーカー：世界10ヶ国　90社以上

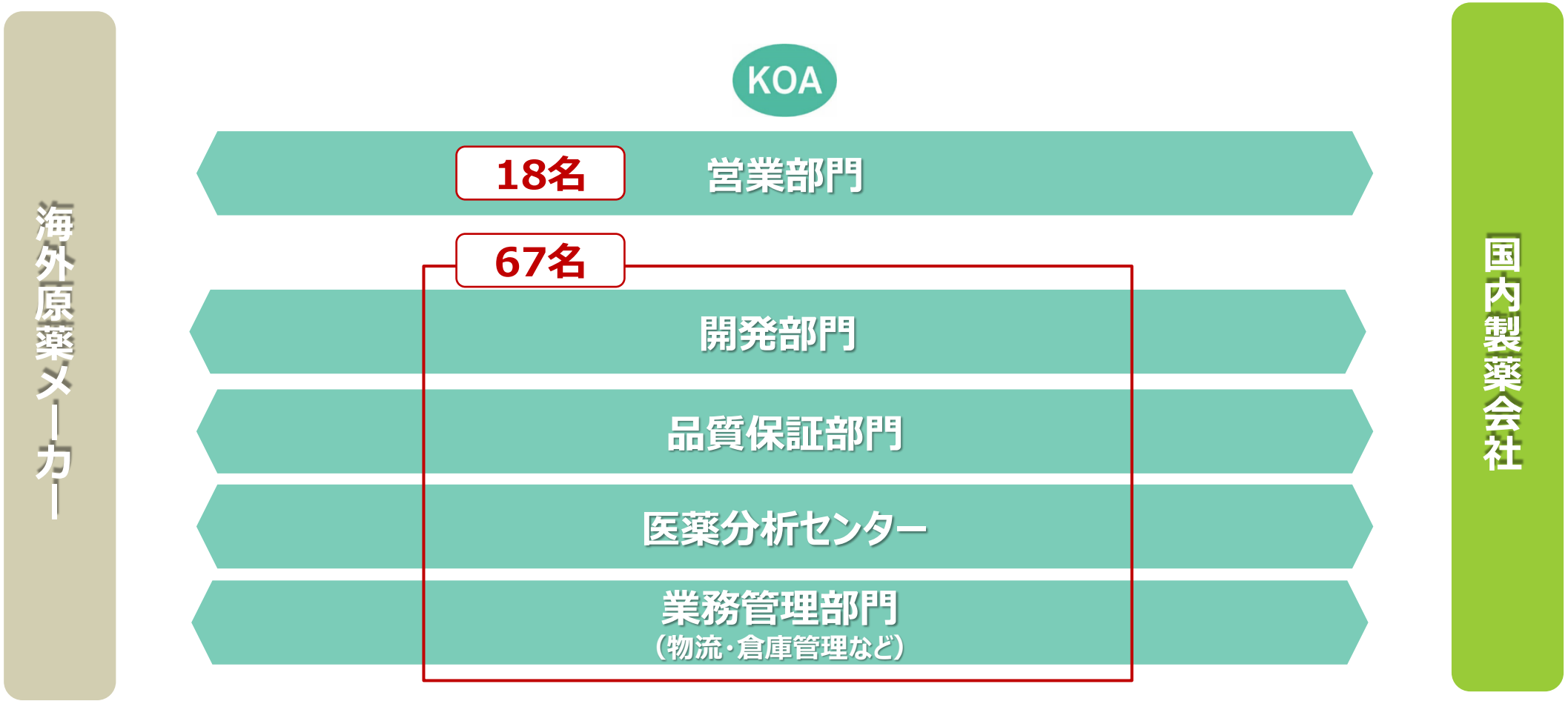


国内製薬会社：100社以上

『安心、安全、安価な原薬の安定供給』

原薬セグメントにおける優位性（2）

少数精鋭の営業×スペシャリストによる充実したサポート体制



※2026年6月末時点

原薬セグメントにおける優位性（3）

開発初期段階から安心･安全な原薬の提案を可能とする専門部隊

海外原薬メーカー

KOA 開発部

日本市場の情報提供から一緒に創るJapan Quality

数年先を見越した提案と手厚い開発サポート

国内製薬会社

・特許を回避した製法の提案	特許調査	・特許見解書を提供
・日本の市場予測の提供	マーケティング	・市場性や既存のラインナップを意識した顧客ニーズに合った提案
・日本当局の査察基準に適合する管理体制の指導 ・日本の要求基準を満たす原薬の品質改良・新精製法の技術提案	開発監査	・信頼のおける原薬製造所の紹介 ・製剤に合わせた特性を有する原薬の提供
・低コストで合成できる製造法の技術提案	SIセンター	・製剤開発に役立つ技術情報提供

原薬セグメントにおける優位性（4）



国内東西3拠点の倉庫による安定供給









最先端の機器を用いた厳しい品質管理

一般的な商社が外注・省略する品質試験を、自社で実施することで、**コスト減、納期短縮、信頼性向上**を実現。
また、品質試験方法・規格の確立から、当局審査対応までサポートすることで、**顧客の開発業務負担の軽減**も担っている。




ICP-MS


SEM-EDX


XRD

医薬品セグメントにおける優位性（１）

長年にわたる注射剤の製造経験・凍結乾燥*技術
内服剤と注射剤3剤形(バイアル・アンプル・シリンジ)へ対応

原薬メーカー

コーアイセイ

本社工場
- 内服剤
- 注射剤アンプルライン
- 注射剤バイアルライン
  (液剤・凍結乾燥ライン)

蔵王工場
- 注射剤シリンジライン
- 注射剤バイアルライン
  (液剤・凍結乾燥ライン)



錠剤



バイアル


アンプル



シリンジ
(プレフィルドシリンジ)

患者様・国内製薬会社

＊凍結乾燥：必要な成分を凍結・乾燥させ、粉末状にしたもの。化学的に安定しており長期保存が可能だが使用のたびに溶解が必要。

医薬品セグメントにおける優位性（2）



錠剤
固型の製剤。
当社の主力製品のひとつ「炭酸ランタンOD錠」は錠剤の医薬品です。



バイアル
薬剤を入れた後ゴム栓をしたもの。
注射器でゴム栓から薬液を取れる。



アンプル
薬液を充填した後に末端を溶かして閉じたもの。

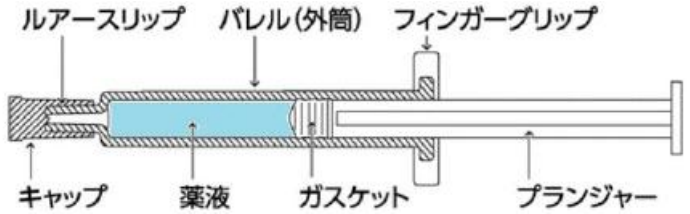


シリンジ（プレフィルドシリンジ）
あらかじめ薬液が充填された状態の注射器。

当社製品の優位性

炭酸ランタンOD錠は、慢性腎臓病患者の高リン血症の改善用に使用される医薬品です。**OD錠は水なしでも服用可能な口腔内崩壊錠**であり、水分摂取制限のある透析患者様に有用です。

マキサカルシトール注射剤は、副甲状腺ホルモンの合成・分泌を抑え、血中の副甲状腺ホルモン濃度を下げる薬で、通常、透析患者様の二次性副甲状腺機能亢進症の治療に用いられる医薬品です。
先発品の中外製薬株式会社をはじめ、数社が販売していますが、**他社の製剤はすべてアンプル**であるのに対し、**当社の製剤はシリンジ**であります。プレフィルドシリンジの製剤は感染予防と医療従事者の安全性と作業効率向上の観点から有用であります。



医薬品セグメントにおける優位性（3）

蔵王第一工場



少量多品種
生産
シングルユース
対応

特徴	少量多品種生産(シリンジ製剤・バイアル製剤)
建築面積	1,917㎡
延床面積	3,329㎡
充填設備	シリンジライン、バイアルライン液剤・凍結乾燥ライン
製造能力	シリンジ製剤 約480万本(1mL)/年 バイアル製剤(液) 約90万本(1mL)/年 凍結乾燥製剤 約60万本(1mL)/年
製造品目	高薬理活性注射製剤/プレフィルドシリンジ製剤 バイアル製剤

蔵王第二工場



大量少品種
生産
プレフィルド
シリンジ専用

特徴	大量少品種生産(シリンジ製剤)
建築面積	2,793.10㎡
延床面積	3,419.27㎡
充填設備	大量生産型シリンジライン
製造能力	シリンジ製剤 約1,200万本(1mL)/年
製造品目	高薬理活性注射製剤/プレフィルドシリンジ製剤

コーアイセイ創立70周年ロゴマーク

70th Anniversary Logomark



「ZAO」の文字に蔵王山から昇る朝日と「70」を重ね合わせ、

そびえ立つ蔵王山のように逞しく新たなチャレンジへ向かう、

私たちの決意と未来への想いを込めて、

創立70周年を象徴するロゴマークを創りました。

免責事項

この資料は投資家の皆様の参考に資するため、コーア商事ホールディングス株式会社（以下、当社）の現状をご理解いただくことを目的として当社が作成したものです。

当資料に記載された内容は、作成時点において一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。

投資を行う際は、ご自身の判断でなさるようお願いいたします。